

令和3年6月14日（月曜日）

第2回松島町議会定例会会議録

（第3日目）

令和3年第2回松島町議会定例会会議録（第3号）

出席議員（14名）

1 番	杉 原 崇 君	2 番	櫻 井 靖 君
3 番	緑 山 市 朗 君	4 番	赤 間 幸 夫 君
5 番	高 橋 利 典 君	6 番	片 山 正 弘 君
7 番	澁 谷 秀 夫 君	8 番	今 野 章 君
9 番	太 齋 雅 一 君	10 番	後 藤 良 郎 君
11 番	菅 野 良 雄 君	12 番	高 橋 幸 彦 君
13 番	色 川 晴 夫 君	14 番	阿 部 幸 夫 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	櫻 井 公 一 君
副 町 長	熊 谷 清 一 君
総 務 課 長	千 葉 繁 雄 君
財 務 課 長	佐 藤 進 君
企 画 調 整 課 長	佐々木 敏 正 君
町 民 福 祉 課 長	安 土 哲 君
健 康 長 寿 課 長	齊 藤 恵美子 君
産 業 観 光 課 長	太 田 雄 君
建 設 課 長	赤 間 春 夫 君
会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	鷹 平 義 弘 君
水 道 事 業 所 長	岩 渕 茂 樹 君
危 機 管 理 監	蜂 谷 文 也 君
総 務 課 総 務 管 理 班 長	相 澤 光 治 君
教 育 長	内 海 俊 行 君
教 育 次 長	赤 間 隆 之 君
教 育 課 長	千 葉 忠 弘 君

選挙管理委員会事務局長

中 條 宜 之 君

代 表 監 査 委 員

丹 野 和 男 君

事務局職員出席者

事 務 局 長 櫻 井 和 也

次 長 熊 谷 直 美

主 査 清 水 啓 貴

議 事 日 程 (第3号)

令和3年6月14日(月曜日) 午前10時 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

〳 第 2 議員提案第1号 松島町議会会議規則の一部改正について

〳 第 3 議案第 35号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について

〳 第 4 議案第 36号 令和3年度松島町一般会計補正予算(第3号)について

〳 第 5 議案第 37号 令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

〳 第 6 議案第 38号 令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

〳 第 7 議案第 39号 令和3年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)について

〳 第 8 委員会の閉会中の継続審査・調査について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開 議

○議長（阿部幸夫君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより令和3年第2回松島町議会定例会を再開いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

お知らせいたします。議場で暑い方は上着を脱いでもらって結構でございます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（阿部幸夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、6番片山正弘議員、7番澁谷秀夫議員を指名いたします。

日程第2 議員提案第1号 松島町議会会議規則の一部改正について

○議長（阿部幸夫君） 日程第2、議員提案第1号松島町議会会議規則の一部改正についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議員提案第1号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議員提案第1号松島町議会会議規則の一部改正については原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第35号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した 被保険者に係る国民健康保険税の減免に関する条例の

一部改正について

○議長（阿部幸夫君） 日程第3、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。8番今野章議員。

○8番（今野 章君） 8番今野でございます。

何点かちょっとお聞きしようとは思っていたんですが、最初に、介護保険料の関係で減免ということについて、今までは規則のほうで定めていたかと思うんですが、引き続きこの国保と同じように規則のほうで減免をするのかどうか、その辺について最初にお聞きをしたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） 介護保険料につきましても、令和2年度に引き続きまして、規則を改正いたしまして実施したいと考えております。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8番（今野 章君） それで、国保の関係ですが、令和2年度、大体終わった、終わったといえますかね、もう3か月過ぎていますので、減免状況を、どうだったのかという辺り、2年度の分について、それぞれ減免割合に基づいて金額と世帯関係ですかね、分かればお知らせいただきたいと思うんですが。

○議長（阿部幸夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） それでは、令和2年度の国保税の減免状況ということでご報告させていただきます。

令和2年度の減免申請につきましては、令和2年7月14日から令和3年3月31日まで受付しており、減免申請者101名に対し減免決定者が96名ということで、不承認者5名ということでございます。

不承認者5名の内訳につきましては、事業収入の減少が10分の3以下になっている方が4名と、あと減少以外の所得が400万円を超えている人が1名いらっしゃったということに伴って、101名に対して減免決定者が96名ということになっているところでございます。

減免の決定額につきましては、2,071万300円ということになっております。

また、令和2年度につきましては、令和元年度の分、いわゆる2月1日から減免申請ということも可能でしたので、こちらについても元年度分ということで申請受付ということで、同

じく 7 月 14 日から受付しているところでございます。

令和元年度の減免申請者につきましては、79 名に対して減免決定者が 74 名ということになっておるところでございます。滞納繰越者が 11 名いるということで、63 名の方に還付ということで、還付を戻している状況でございます。金額につきましては、滞納者のも含めて 396 万 400 円ということで、令和元年度部分につきましては還付ということになっている状況でございます。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8 番（今野 章君） ちょっとその減免割合で何件あったかぐらいちょっと分かりませんか、それぞれの割合。

○議長（阿部幸夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） 大変申し訳ございませんでした。それでは、まず令和 2 年度分の 96 名に対しての減免割合でございますが、いわゆる 10 分の 10、100%減免の方が 52 件でございます。続きまして、10 分の 8、80%減免の方、こちらが 19 件でございます。続きまして 10 分の 6、60%減免の方が 24 件。続きまして、10 分の 4、いわゆる 40%減免の方が 1 件と。10 分の 2、20%減免の方はいらっしゃらなくて、合計で 96 件となっている状況でございます。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8 番（今野 章君） ありがとうございます。

それから、もう 1 つ、条例の中で、いわゆる非自発的な失業ということでの規定があるかと思うんですが、その場合に、この対象とは基本的にはしないということになっているわけなんですが、その辺の数などはお分かりでしょうか。なかったのか、あったのか含めていかがでしょうか。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 非自発的失業者の件数というところでちょっとお答えさせていただきます。

今回の 4 月、5 月のところで、令和 3 年度に限って 6 名ということで把握しております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8 番（今野 章君） そうするとあれですか、2 年度についてはちょっとつかめていないということなんですか。その辺はどうなんですか。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 大変失礼しました。昨年度は2人ということで把握しています。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8番（今野 章君） そうすると、これはいわゆる非自発的失業者ということでの取扱いで、いわゆるコロナ感染症による収入減少ということではなくて、あくまでも非自発的失業ということで認定したということではよろしいのかどうかですね。コロナによる減収というふうに転換した人はいないのかどうか。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 条例の中にありますとおり、非自発的失業者、雇用保険受給者について、前年度所得の100分の30をみなして、その分を控除して減免割を改めて算出して税額を割り出すというふうになっているかと思いました。

その分について、ちょっと付加の時点で結果どうなったかというの、現在把握しておりませんで、実際にその対象者の把握というところでとどまっております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8番（今野 章君） それから、もう1つ、いわゆる全国的に持続化給付金とかそういうものを申請する際に、虚偽申請をして受け取ったという、そういうケースもあるんですが、本町の条例上は、そういった場合の取消しの部分については、規則に譲っているわけですね。私、分からないんだけど、条例の条文の中で、取消し決定や何かを定めるのではなくて、規則で定めるということをしているわけなので、本町は、条例で定める場合と、規則で定める場合とのこの違いといいますか、どういう判断に基づいてその条例にするのか、規則にするのかという判断がされているのか、それについて教えていただければと思います。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 大きくこういった国に基づく条例につきましては、本当に国民健康保険税条例とかについて国の準則に従って決めているところが基本にございます。その傾向を見ますと、やはり期限をもってこの減免とかを行っているものについて、この条例については条例で決めているんですけれども、対応しやすいように、規則のほうですといわゆる議会のほうに大元を分かっただいて、あと期限を延長していくということで、規則で定められているのが多いのかなと、傾向としては把握しております。当町のほうもそれにちょっと基づきながら、あと近隣市町のほうの対応の仕方も参考にしながら、今現在対応し

ているところであります。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 今野 章議員。

○8番（今野 章君） 取消しという重大な決定をやっぱりするわけなので、条例上の規定に、本来はしておくべきなのかなんて、私もそういう規定がないので、なくていいのかなと思って見たら、規則のほうにあったので、運用としてはそういうことなのかなとは思って見たんですが、条例上の規定にしておかないと、どうなのかなという思いがあるんですが、法解釈上も、それはあれなんですか、十分に通用するという解釈でよろしいということなのか、その辺だけ確認させていただきたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 対策としてはそういうことになります。補助金等についても、補助金等の交付規則のほうで全て処理させていただいていますので、そうした解釈で問題ないと考えております。

○議長（阿部幸夫君） よろしいですか。

傍聴の申出がありますので、お知らせいたします。

塩竈市、高橋公彦さんほか1名でございます。

他に質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第35号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議案第35号新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正については原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第36号 令和3年度松島町一般会計補正予算（第3号）について

○議長（阿部幸夫君） 日程第4、議案第36号令和3年度松島町一般会計補正予算（第3号）に

ついてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。10番後藤良郎議員。

○10番（後藤良郎君） 交付金事業一覧のほうでお話をしたいと思います。ナンバー10、これは令和2年度に続くということで、中身については2年度と同じ中身なんではないでしょうか。そこからお願いします。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 内容のほうにつきましては、基本的に同じ取組を今回もさせていただくというふうにして、今回計上しております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 後藤良郎議員。

○10番（後藤良郎君） そういう対象者にとっては大変喜ばしいのかなと。これあれですかね、例えば、終わった段階で、この感想みたいな、そういう、その辺は聞き取りはなされているのかお聞きをします。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 申し訳ございません、実際の感想までは直接お聞きしておりませんが、申し込む際に、親御さんの方から大変感謝の言葉をいただきながら、また、戻ってきたときには、贈っていただいたものを購入するように気にかけてみたいというような言葉をいただいております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 後藤良郎議員。

○10番（後藤良郎君） 商工会挟んでも親御さん、子供さんも含めて、地元に対する愛着を深める意味でも大変すばらしい事業であると思うので、コロナはこのまますんなり収まるということはちょっと考えにくいので、次年度もそういう方向性が考えられるのかな。もし考えられた場合は、よりまたいいものにしてもらいたいなど、そのように思います。

ナンバー15です。クーポン券関係なんですが、遊覧船のほうはこの間の説明で分かりましたが、地域限定の1,500円の部分もう少し詳しく中身をお願いします。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） お答えします。

前回、G o T o トラベルの、昨年なんですけれどもG o T o トラベルの松島キャンペーンやったときも、例えば、協賛するお店でのお買い物とか、観光施設に入る入場券とか、あるいは食事に使えたりというようなところを見てまいりたいと。このところは観光協会さんと

今後協議してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 後藤良郎議員。

○10番（後藤良郎君） しっかり、まだ決まったわけではなさそうなので、より良いものにしてもらえるようお願いをして終わります。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。1番杉原 崇議員。

○1番（杉原 崇君） 1番杉原です。

まず初めに、3月議会の総括質疑で、コロナ禍による大幅な減収で大変厳しい中で、漁業者支援が必要ではないかというお話させていただいた中で、今回、漁業関係でナンバー12番販路拡大と、ナンバー13番資材購入支援、そしてイベントも含めれば3つの事業を予算化していただきました。誠に感謝申し上げます。ありがとうございます。

漁業をしていく上でかなり変化がありまして、今年は湾内でなかなかシャコが捕れなかったり、アサリも先週、先々週ですかね、松島海岸、試しがきしたら全然捕れなかったというのもあったり、あとは浦戸でも取れないし、七ヶ浜でも休漁すると、アサリの休漁するというお話がありました。漁業をやっていく環境が随分変わってきた中で、こういった支援は大変うれしいもので、感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

そこで、質問なんですけど、まず、ナンバー13番の資材購入支援につきまして、議案説明の際、対象経費の資材としてカキ棚や浮き樽との説明がありましたが、カキ棚で使用する竹は、竹屋さんから直接仕入れておりまして、今回の交付対象が松島支所ということで、上限額5万円ということではありますが、そのほかにもいろんな資材はあるんですけれども、説明が、カキ棚と浮き樽という説明があったものですから、ほかに資材としてこういったものを想定しているのか、それをお聞かせいただければと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） お答えいたします。

漁協の松島支所から購入する目架式カキ棚作成用ロープ類、はえ縄式カキ養殖棚作成用ロープ類、浮き球、いかり、それからカキ吊り下げ用のロープ類、生食用カキ入札出荷用容器などを考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 杉原 崇議員。

○1番（杉原 崇君） 分かりました。本当に大変、これ何回も言うんですけども、物すごく感謝申し上げます。

ちょっと話変わるんですけども、総括の際にも、今さっき、竹の話したんですけども、

総括の際、竹の処理に困っているというお話も、ちょっと脱線しちゃうんですけども、困っているという話をした中で、東松島で使用した竹を炭にする事業なんていうのも行っているんで、ぜひ当町でもそういった取組があればなという思いでお話しておきます。これは全然違うんですけども、しておきます。

続きまして、ナンバー17の安心・安全なイベントを開催する、応援する事業についてお伺いします。

今回、4つの交付対象に上っておりますが、新聞等々、今年も多くのイベントが中止するということが掲載されておりました。この4つのイベントの中で、松島パークフェスティバルのみが10月17日と開催は決定したんですが、磯島かきまつりも11月23日に開催する方向ではありますが、残りの2つ含めてイベント開催するのか、どういう状況なのかをお聞かせいただければと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） お答えします。

今現在については、やっぱりコロナの状況を見ての判断ということで、各実行委員会の方も考えていらっしゃると思います。ただ、お客様へ、観光客への周知等もございますので、その状況を見ながら、開催の1か月前には開催の可否及びそういったできない場合はこういう代替案でいきますよというのを判断させたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 杉原 崇議員。

○1番（杉原 崇君） そういった代替のイベントでも、そういった経費は、感染拡大に関する経費は持っていただけるということでよろしいですね。

今回、対象となる4つのイベントは、それぞれ運営が違っておりまして、ボランティアのみで行っているのもあります。コロナ禍でのイベント開催で、感染症対策により必要となる経費負担が生じる一方で、出店料や協賛金等の収入が減少するため、それに代わる新たな収入源の確保が必要であり、ボランティア中心の運営では予算的にかなり厳しいものがあるというお話も受けております。今回、コロナの臨時交付金ということもあり、感染拡大防止の経費のみが対象であるのかなとは思いますが、自由に使えるような別な形での実行委員会への直接の補助というのを、今後、そういった考えというのはないのかどうか、それをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 今回の事業費については、あくまでも感染予防対策の経費とい

うことで、通常のイベント経費とは一線を引いて考えたところでございます。現在のところは、そういった事業運営に対する補助というのは、現在のところは考えておりません。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 杉原 崇議員。

○1 番（杉原 崇君） 分かりました。予算的なものもあるので、それは分かります。

今回、検温等の確保に必要な経費、来場者への情報把握等々が必要になってくるのかなと、イベント、飲食店でもそういったことも行っているところあるんですけども、そういったものが不要じゃないかなと。そうやってきた場合、一人一人の来場者の連絡先の住所だったり電話番号を把握、追跡対策ということで必要になってきますので、入り口や会場内に看板設置して、参加者に接触確認アプリのインストールを促すことも考えられます。実は、先日、仙台市民球場であった高校野球を見に行った際、このアプリを登録するか、できない方は、来られた方、来場者の住所、氏名、電話番号を記載するというので、入り口が大変混雑しておりました。イベントを開催するに当たり、やはり密をつくらないという感染対策をしっかりしていかなければならないと思いますが、町としてそういった開催に向けてどういった協力体制を考えているのか、それをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 今回は、その対策費ということでの支援になりますけれども、併せて実行委員会の方には、今、杉原議員がおっしゃったような対策について、実行委員会の方には説いて聞かせて、やらせてみ、褒めてたたえて、開催のイベントにつなげていきたいと、このように考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 杉原 崇議員。

○1 番（杉原 崇君） なかなかすばらしい答弁で。一緒になって開催に向けて努力していただきたいなという思いがあります。県のホームページとかで見ると、1,000人を超えるイベントは、事前に相談することということになっておりますので、ぜひ町も一緒になって、そういった相談体制とかしっかりとつくっていただければと思います。

最後に、ナンバー18の宿泊施設の観光誘客支援事業についてお聞きしたいと思います。

宿泊施設と体験型観光メニューの連携したセットプランの新規開拓になりますが、体験メニューに関しましては、最近、松かまさんが総本店の2階を改装しまして、笹かまの手焼き体験と、すり身から作る手作り体験、たこ焼き作り体験というのを始めまして、やはり体験のアクティビティが大変重要になってくるかなというのがあります。今後の体験メニューの充

実のためには、新たなコンテンツの造成も必要と考えますが、今回、宿泊事業者が、宿泊業者が主体でありますので、事業者から既存のメニューのほかに何か新たなメニューの構想というものが、話があるか、最後にお聞きしたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） お答えします。

今現在、国、県及び町では、ワーケーションに係る環境整備支援を行っておりますが、私たち観光分野、どのように今後考えなくてはいけないのかという話になれば、そのバケーションに取り組む必要があるんだろうと。松島では、これまで観光という概念はあったんですけども、バケーションへのつなぐ取組というのがちょっと、やや薄い傾向にあったかなと考えております。

ご質問のことなんですけれども、今般の事業については、新たな体験型メニューでもよし、それから、既存の体験メニューをブラッシュアップすることもよしということで、ホテルの方には英知を絞ってこの事業に取り組んでいただきたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 杉原 崇議員。

○1 番（杉原 崇君） ぜひ、いいメニューをつくっていただきたいと思います。ほかの自治体だと、ふるさと納税の返礼品なんかでもこういった体験型のコンテンツを取り入れているところもありますので、ぜひ、ふるさと納税、自主財源の確保の意味でも、そういったものをつくって、町と一緒にやってつくっていただければという思いがありますので、どうぞよろしくお願いします。終わります。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。4 番赤間幸夫議員。

○4 番（赤間幸夫君） 4 番赤間です。

私のほうからは1点です。例年のことですが、この6月定例会でいわゆる人事異動を理由とした人件費の補正を組むということでの補正予算で上がるわけなんですありますが、今現在、私が何となく自分の経験値も含めてお話しさせてもらいたいと思いますけれども、人事異動というのは、基本的には、例年、松島町は1月くらいには目鼻つけてヒアリング等行いながら4月1日の人事発令、併せて職員の定期昇給、あるいは特別昇給等も含めて、その合わせた形で数字のはじきはやられておられると思うんです。なおかつ、松島町は、その給与は一元で、例えば総務課に人事給与関係を担当した部署を、あるいは担当者を置いて対応しているのかどうかの話、まず伺いたいんですが、よろしくお願いします。

○議長（阿部幸夫君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 給与関係については、給与の計算自体は総務課で、例えばしますけれども、水道事業会計であれば、それを基に水道のほうで予算組みをするという内容になっています。

○議長（阿部幸夫君） 赤間幸夫議員。

○4番（赤間幸夫君） そうしますと、4月1日で異動等あったことに対して、給与改定含めてですけれども、この6月定例会に補正予算という形で上がるんだろうと思うんですけれども、他の自治体の事例なんかもお伺いしてみますと、12月に大体、人事院勧告を受けた形での給与関係の補正を全面的にやられているパターンが多いわけなんです、1年間を通じて。年度予算ですから、年度当初に、当初予算に、現年度ですから令和2年度分としての予算計上から令和3年に異動あった分としての計上も含めて、おおよそ計上も可能じゃないかなと思うんですね。そうしますと、12月の定例会で十分、いわゆる人事院の勧告等を受けた中で給与改定も遅くはないんじゃないかと。いわゆる残り3か月もってますからね、その中で泳げるのではないかという見方すると、6月の定例会において人件費を基にした補正を組む必要はあるのかどうかというところをちょっと質問なんです。いかがでしょう。

○議長（阿部幸夫君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） これまで、こういったやり方をしています。確かにお金が間に合う、間に合わないという話であれば、今、赤間議員さんが言われたとおりかもしれませんが、実態に即した形で、一応補正をかけるということで、これまでも6月で補正をしてきたという経緯があります。ただ、今回は、例えば時間外手当、今までは機械的に計算して6月補正でやってきたんですが、今回は事業実施に伴って、あるいは、明らかに補正しなければならないものだけに限ってやっていますが、それ以外の、例えば共済費とか、ほかの手当については、人が異動すれば家族構成も通勤の事情も変わりますので、それが明らかになった時点で補正をするという考えで、6月補正で計上しているということです。

○議長（阿部幸夫君） 赤間幸夫議員。

○4番（赤間幸夫君） これでやめますけれども、まず、1年間の通年の予算計上に当たって人件費を計上されて、今回のようにコロナ関係での事業予算、いわゆる事業費支弁に伴う予算補正をするというのは、これは十分、私ども理解できます。しかしながら、通年の人事異動に伴ってというのは、もう既に3月定例会の1か月、2か月前にはおおよそその固めをしておいて臨んでおられるんじゃないのかなという思いがあるからなんですね、この時点なのかなと。ましてや、もう一度、12月に人事院勧告等を受けた形で補正をかけるということであれ

ば、今、松島町の人事給与担当する職員が何名でやられているか分かりませんが、ただ、電算処理して対応しますから、ほとんど、そんなにきゅうきゅうとして、大変な思いしてというのはないだろうと思いますけれども、だとするならば、その辺の事務軽減も、あるいは事務の合理化という面からも、考え及んでもいいのではないのかと。そろそろそういった事務の合理的なことも念頭に置きながら作業を進められてはどうかという思いで聞いています。どうかその辺も今後の検討課題に入れて進めてくださいということです。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 熊谷副町長。

○副町長（熊谷清一君） 今、人事の給料の話で、考え方の1つとして、予算が年度当初組むわけで、諸経費も170人数の枠で組んでいくと。それはそれとして、ひとつ予算の範囲で、一番最終的に12月頃に人事院勧告がありますから、そこに合わせてというのも1つの考え方かなと思います。ただ、人事をやっていく段階で、予算編成時と、それから職員の採用、例えば、中途ですと保育所とか幼稚園、やっぱりどうしても組んでも、3月末にいろいろと、実際採用できなかったとか、急に、今までですと3月辺り、寿で、結婚してお辞めになったとか、そういう様々なことがちょっとあって、それによって配置を変えていたり、いろいろな対応もちょっとしてきたところがあります。そういうことで、4月にははっきりした人事、人の配置が分かりますので、分かった段階で一番最初の議会の中で、その辺は人数も変わります、そういうことで、人数が変われば共済も変わるということで、分かった段階で早く人事については処理してきた経緯もありますし、今のご意見を伺いながら、内部で検討いたしますが、今までの流れ、早く分かった人事の人数、額、分かった段階で早く対応したほうがよろしいのではないかとというのも1つの考え方かなと思っております。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。7番澁谷秀夫議員。

○7番（澁谷秀夫君） 7番澁谷でございます。

1点お伺いいたします。歳出についてでございますが、2款総務費1項、10目諸費についてお伺いいたします。

これは、自衛官募集要項に係る令和3年度の重点市町村指定に対する経費について補正されるというものであります。お聞きしたいのは、1つには、令和3年度に県内市町村で指定されている市町村は幾つぐらいあるのか。それからまた、町としては、募集方法をどのように考えているのかお伺いしたいと思います。

また、ちなみに、この重点市町村指定とは、意図することは何となく分かるわけでございますけど、その点についてもお伺いしたいと思います。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） まず、重点市町村への指定ということなんですけれども、これにつきましては、自衛隊宮城地方協力本部のほうから宮城県のほうに今年度はこの地区、この地区で、この市町村のほうを重点で募集事務を行っていきたいという推薦があり、宮城県知事のほうから指定を受けるものでございます。

令和３年度につきましては、５つの市町が指定をされておりまして、仙台市、登米市、大河原町、利府町、そして松島町ということで、５つに重点指定がされております。

募集の周知方法につきましては、役場庁舎、国道側のほうの壁面にぶら下がり式の懸垂幕のほうを設置し、募集の呼びかけを行っていきたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。12番高橋幸彦議員。

○12番（高橋幸彦君） 12番高橋です。

私のほうも事項明細書の６ページの新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業の中です。

その中で、先ほど１番杉原議員が質疑の中で言いましたように、私たちカキ事業者含め、農業関係とか１次産業に関係する補助金等の事業が入れられたと。昨年までの、前回までの、１次産業云々というのもあったんですが、実際、なかなか利用しにくくて、恐らく利用率も余り高くなかったんじゃないかと思いますが、今回のやつは中身を見ますと、大変私どもに使いやすい事業になっているんじゃないかなと思っておりますので、まず最初に御礼を申し上げたいなと思っております。それで、私のほうも後藤議員とかぶるんですが、10番の帰省自粛学生支援事業、これ、説明でも言いましたし、先ほどの安土課長の答弁でもあったんですが、２回目ということで、昨年は、送料込みで品物が6,000円という内容だったんですが、今回は中身だけで7,000円、それで送料が2,000円で、プラスすると9,000円ですね。先ほどの答弁の中でも、アンケートとかは取っていないけども、町内の父兄の方々からは感謝の言葉いただいたということで、恐らくそういうことがあったので、また事業を続けるべく、２回目の事業というふうになったと思うんですが、前回のときにはその中身ですね、米とかマスク、それから特産品というふうになっているんですけれども、今回はそれにプラスするような何か品物等は考えておられるのでしょうか。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） お答えします。

昨年と同様に、松島産のお米や松島産のノリはもちろんなんですけれども、今回、松島湾産カキを加工したおせんべいや松島サイダー、商品名になってしまうんですけれども、あと、

昨年度ご提供いただいた松島かまぼこ、今回、購入して学生さんのほうにお送りしようと考えています。併せて、町内ラーメン店の自宅用の調理用ラーメン、帰省した際に乗船できる遊覧船券、あとは松島温泉の入浴剤ということで考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 高橋幸彦議員。

○12番（高橋幸彦君） やはり好評な事業というのは、先ほど後藤議員さんも最後におっしゃったように、やっぱり続けていってもらいたいなと思っております。

それと、9ページの先ほどの赤間議員さんの人事とちょこつと絡むかとは思いますが、私、一般質問で保育・幼児教育云々の話しましたので、補正で気になりましたのが、9ページの2項児童措置費の3節の3項の保育所費ですね、減額補正で1,436万円、結構金額が大きいので、それで先ほども赤間議員さん言っていましたけれども、毎年この6月議会で補正を出すということで、昨年の補正の資料を見ているんですが、保育所費では、やはり一般職は490万円の減額なんです、会計年度任用職員の報酬で300万円の費用を出して、トータルでは433万9,000円の減額となっているんですが、今回でその1,400万円ぐらいの減額していて、増額というか、会計年度職員とかの採用等はないので、あのときも一般質問でも聞いたんですけども、これで運営していくというのは大丈夫だとは思いますが、その辺のところを答弁いただきたいなと思っております。

○議長（阿部幸夫君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） まず、1,000万円を超える減額ということなんです、これ、当初、常勤職員22名で予定していたんですが、結果的に20名ということで、それに伴っての金銭的な減額ということになります。それから、会計年度任用職員については、当初予算で32名予定していますが、今回その32名の予定の人数で変わらないということで、補正はしておりません。

それから、運営的に大丈夫なのかということなんです、余裕はないかと思いますが、会計年度職員とか、派遣職員を活用しながら運営をしているという状況になります。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 高橋幸彦議員。

○12番（高橋幸彦君） 派遣のほう、それは3月の予算で決まっているので、またあと増やしたりなんかすればでしょうけれども。以前の待機児童云々のときで一般質問でも言ったんですが、年度当初は待機児童は松島はいないと。けども途中で結局3歳未満の小さいお子さんを預けたいという父兄が出てくると。そういう状態になって保育士さんが足りないような状態になるという事例が、まあそれを予測するというのはちょっと難しいかと思うんですが、

そういう心配も今年度はないのでしょうか。それもちよつと聞きたいなと思います。

○議長（阿部幸夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 保育所全体で保育士さんの必要割当て人数が今の児童数226人から見ますと32.5人と出ているところでございますが、当初予算、いろいろな会計年度任用職員や職員、また派遣型の保育士を含めると36人ということで充足し、今後、増えたとしても対応できる状況なのかなと認識しております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。5番高橋利典議員。

○5番（高橋利典君） 私も、新型コロナウイルスの感染症対策地方創生の臨時交付金の事業の一覧のほうから質問させていただきます。

ナンバー12、13は、竹のほうが対象にならないということで、それでいいんですけれども、それはいいんです。

ナンバー14で、一応、令和3年度産米の米価ということになるかと思いますがけれども、令和2年度も米価はそのとおり、消費が落ち込んで価格が下がっている状況にもあります。なおさら我々も、60キロから1,000円も下がるとかなり影響、出荷数量のことでは影響することになっております。そういった意味では、この米価、作付農家の応援事業ということで、大変感謝をしているわけですがけれども、この令和3年度産米の対象になると思うんですがけれども、今年度も経営計画を提出して、5月の末には数量の予約表もきちっと提出しまして、その予約表で、その予約の数量で前受け金というのが大体60キロ当たり3,000円から来るわけですがけれども、大体それはもういろんな資材とかなんかも、そういった機械の整備とかやった段階での請求となると、もう出荷した数量、生産の金額が入るところにはすっかりなくなっちゃうというような感じになってしまうわけです。

そこで、10アール当たり2,000円として作付の応援ということでございますけれども、この交付の仕方というか、どんな形で交付になるのか、JAを通すのか、それともこちらの産業観光課のほうから直接その作付の対象者に入っていくのか、その辺をちょっとお聞きします。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 直接郵送なり窓口に来ていただいて、役場のほうに来ていただいて申請をしていただくと。役場が主体となりお金を交付するということになります。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 5番高橋利典議員。

○5番（高橋利典君） その際には、きちっと前もってご案内というか、その案内はあるわけで

すね。その辺の確認でございます。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 基本的には既に作付の関係については営農計画書の提出をもらっておりますので、数字については産業観光課のほうで押さえていると。申請については、書類はあくまでも役場のほうに用意しているということで、農家さんのほうには恐れ入りますけれども、1回来ていただいて、説明なり聞いていただいて、郵送なり窓口のほうで申請をお願いしたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） よろしいですか。他に質疑ございませんか。13番色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） 大分皆さん、この臨時交付金のことにつきましては質問ありましたんですけど、本当に3月のこの交付金ですね3,000万円、あのときは予備費という言葉は悪いんですけども予備費的に残してたと。これを今回使った。それから、県から1,000万円、財調からその残りだと、そういうことで、この金額で1次産業も含めてやっていただいたということは、その携わっている従事者からも非常に喜んで、今、お礼の言葉とかなんかもあったと思うんですけども、私、やっぱり今回、15番の観光についてちょっと。この八百八島のクーポン券発行事業1,900万円。このネーミングがすばらしいなと思ったんです私。なかなかこの言葉出てこないんです、よほどの人じゃないと。よほどって、松島のことをよほど知っている人じゃないとこれは出てこないと思うんです、八百八島って。これ、観光課で考えたのか、コンサルで考えたんだか、どうだか分からないんですけど、どういうことでこの思いをつけたんですか、名前。

○議長（阿部幸夫君） 櫻井町長。

○町長（櫻井公一君） 先に私振らないと、担当課長しゃべりづらいと思うので。産課の課長がいろいろ考えてアイデアを出したので、課長のほうから答弁させます。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） お答え申し上げます。

宮城県内もいろいろな観光事業がございまして、みちのく仙台七夕まつり、夜の仙台国分町、日本三景松島は八百八島の島巡りということで、遊覧船については、松島観光の看板だと考えております。今現在、その遊覧船のほうも大変コロナで苦戦をしていると、ほかの観光施設も同様であると。何とか担当のほうからは地域活性化、観光の活性化を何とかしたいというようなことで、この事業に取り組みました。名前については前段に申し上げたとおりです。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） 本当に私、これ最初見てね、あらなかなかこれは出ないなということで、本当によくぞこういう名前を使ったなと、このように私自身はいいことだなと思います。

それについて、やっぱりこれ、資料、1,960万円、1セット2,000円の補助だということで、3,000円、普通だったら1セット本当は3,000円なんだけれども、自己負担が1,000円で済むというようなことですね。そういうことで、すごく割安感のある。発売はいつからなわけなんでしょう。それで、発売元は観光協会よろしいんですか、前回やったようなことと。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 販売元は観光協会を考えております。販売につきましては、コロナの感染状況もあるんですけれども、7月の夏休み前からできれば販売可能としたいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） 前回のこういうクーポンですね、大変好評だったんですけれど町外からも当然お買い求めになる方いっぱいいらっしゃったんですけど、町外からでも当然購入はできますでしょうね。どうなんでしょう。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 喜んで販売いたします。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） それで、この1セット1,000円なんですけれども前回も松島に何回も来て、船に乗っているよと。だから今回、このセット使うに当たり船もこれセットになってますけど、船に乗らないと、今年、今回は。この地域クーポンですね、観光施設のほう、地域限定のほうで船券も一緒に使えることはできるのでしょうか。またその逆ですね、今回船だけ乗りたい、地域限定のそれは使わないで船のほうに利用したいと、それはできるんでしょうか。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 販売についてなんですけれども、遊覧船チケットと地域クーポン券を一緒に挟み込んでの販売になりますので、遊覧船に今回は乗らないとかというのは言わないで、ぜひ遊覧船も乗って松島観光を楽しんでいただきたいと、このように考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） それは十分分かるんです、十分分かるんですけどね、そういう人も中にはいらっしゃるのかなと、こういうふうな思いで聞いているわけなので、もしそういうことが可能なら、可能なら、そういうことも対応していただければありがたいと。十分分かるんですよ、今課長言っていることは。船のほうに乗っていただきたいと。それをご検討いただければ。駄目だというんだったら、それはしょうがないです。

それから、次のページで、16、団体旅行なんですけど、これは8施設に対して、旅館ですね、8施設だけ対応になってるよということなんですけれども、この1から6番まで、対象経費、アクリル板、空気清浄機、それで最後はCO₂その測定器と。これの対象以外はできないのか。または、もうコロナが1年半になります、こういうふうになってから。こういうものを設置していますよ、または、設置始まりましたと、それで、この6月から、実施期間は6月なんですけれども、この対象の機器ですね、これは今年設置したところまで、1月か2月、3月、いつからこれ、いつ設置した人が対象になるわけですか。もちろん、今後、つくる人は対象になると思うんですけど、既に今年やったと、その人も対象になるのかどうか、その辺を聞きたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 対象品目については弾力的に考えたいと考えております。また、この事業については、本年度事業になりますので、遡及の適用期間については、最大で4月と、4月からと考えております。なお、昨年度、店舗等感染拡大防止対策事業費でこちらのほうは上限20万円でしたが、こういった支援も行っているという経緯もありますので、個別、個別の店舗のお話であれば、ぜひ議会終わってからも、うちの班長が十分にお話ししますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） この間のまん延防止の休業補償に対しても本当に優しく対応された、そういう観光課の優しさ、その辺も十分私、分かっていますので、この辺も対象を。今、4月と言われましたんですけど、その辺を十分、優しい気持ちで接していただければありがたいかと、このように思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

それから、18、ナンバー、宿泊施設に対して今回は30室未満、30室以上100室未満、それから、100室以上と、これ全松島町にある施設を対象にしたのかなと思いますけど、まず、この対象になる宿泊施設というのは全部で何件あるんですか。

それと、30室、それぞれの対象の箇所ですね、何施設ずつあるのか、ちょっと教えてください

い。

○議長（阿部幸夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 町内にございますホテルとか旅館の総数については21、よって、今回はこの21件を想定しておりました。そしてまた、30室未満については13施設、それから、30室以上100室未満については4施設、それから、100室以上についても4施設、都合21となります。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） これも本当に30室未満とかそういう収容の少ないところにとっては非常にありがたいなと感じております。大きいところもそうなんですけれどもね、こういう本当に1回こっきりじゃなくて何回もこういうふうは何回か出していただいているという、この使い方ですね本当にありがたいなこう思っておりますので。ただ、商業の関係にとっては、一般商店ですね、「観光のほうはよく出っけども、俺たち商店のほうにあんまり出ねな」と、このようなこともあるかなと思いますので、その辺も十分対応しながら今後出る場合考えていただければありがたいと、このように思っております。本当にありがたいことです。

それから、予算書、補正予算の11ページ、衛生費、7款、新型コロナウイルス接種対策費でありますので、今回は補正はないんですけれどもね、しかし、補正で200万円、会計年度職員5名プラスになったと。それから、職員が390万円、時間外手当だと、そして、委託費で590万円、人材派遣業務委託料、これ減額597万円減額したと。これで帳尻合わせているんですけれども、この委託費ですね、597万円減額して会計年度5名やったよと、プラスしたよと。この理由ですね、何でこういうふうになったのか。それで、人材派遣業を何でここで要らなくなったのか、その辺を説明してください。

○議長（阿部幸夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） 新型コロナウイルス感染症の接種対策費につきましては、9月末現在をもって予算を組み立てておりまして、日数と人数を掛け合わせた予算化をしております。当初、人材派遣業務の委託料は10名分の予算を考えておりましたけれども、それが会場の設置、それから運営上、現在は1日当たり5名の方の設置で済んでおります。4月にシミュレーションを行った際に、ちょっと人数が足りない箇所がありまして、それでその中身については、ちょっと特殊な、看護師とか職種をちょっと限定した内容の箇所だったものですから、人材派遣ではなく、こちらからちょっと想定した方をお願いしたいということで、会計年度の職員を5名分をちょっと追加させていただいたところです。決して、人材派

遣のほうで賄えればよかったんじゃないかというようなことも考えとしてはあったかと思いますがすけれども、4月にシミュレーションをして5月12日からスタートする際には、ちょっと町のほうから町民の方に、ぜひこの方に活用というか、させていただきたいという思いがいありまして、それで会計年度さんでお願いしたところです。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） おおよそ分かったんですけれども、当初は10名予算を組んでたよと、人材派遣、そしたら、やっていくうちにそんなにいらなくなって、今5名でやっておると、そういう5名には特殊な人、専門知識を持った人に対してこの5名を任用、採用するということなんです。そうじゃないんですか。

○議長（阿部幸夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） 会計年度さんをお願いしている職務と申し上げますと、接種が終わった後の健康観察のところに看護師さんをいていただく分ですとか、それから、予診票の確認のところで、これもまた看護師、それから、高齢の方の聞き取りを十分にさせていただけるような方ということで考えて、会計年度さんに充てて、それから、今回、会計年度さん、さらにプラスということでは、受付のところですか、それから、接種が終わった後の案内とかというところにも追加して会計年度さんのほうを上げさせていただきました。

○議長（阿部幸夫君） 色川晴夫議員。

○13番（色川晴夫君） 分かりました。この会計年度の職員なんですけど、5名の方なんですけど、町内の人は何人ぐらいいるんですか。全員町内なんですか。町内、松島在住の方いらっしゃるんですか、いらっしゃらない。

○議長（阿部幸夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） 会計年度さんにつきましては、ほとんど町内の方でいらっしゃいます。看護師さんにつきましては、町外の方もいらっしゃいます。（「分かりました」の声あり）

○議長（阿部幸夫君） ここで、まだ質問あるみたいなので休憩に入りたいと思います。再開を11時20分といたします。

午前11時06分 休 憩

午前11時20分 再 開

○議長（阿部幸夫君） 会議を再開いたします。

皆様をお願いしておきます。私語は慎むようにしていただきたいと思います。マイクで拾っているみたいなので、よろしくどうぞご協力をお願いします。

他に質疑ございませんか。11番菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） 私のほうからは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について伺います。

一般会計補正予算（第1号）で9事業、今回は第2号で11事業ということでそれぞれ財調から第1号で5,700万円、今回1,350万5,000円の繰入れということで、合わせて7,050万5,000円となります。交付金事業であります、持ち出しも出ているということで、当初予算時に財調は12億ちょっとぐらいあったような気がしましたが、現在はどの程度になりますか。

それから、このコロナ感染症の影響で税収も減っていくということが予測されます。今朝、議員控室でいただいた資料を見ますと、太陽光発電で1億3,000万円ぐらいの税収があるということですが、今後の財政運営に影響することがないのかどうか伺うところであります。

○議長（阿部幸夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） まず、財調の残高ということでご報告させていただきたいと思います。あくまでも予算上ということでございますけれども、令和2年度の財調残高、年度末ですけれども、12億1,500万円と。ここから当初予算で2億942万2,000円というのを繰入れ、また、先ほど菅野議員がおっしゃったように、3月の補正にて5,700万円の繰入れ、また、4月の専決処分で40万円の繰入れ、また、今回1,001万6,000円の繰入れということで、今年度、今のところのトータルの繰入額としては、2億7,683万8,000円ということになっている状況でございます。年度末、令和2年度末の現在高から今年度の繰入れということを引きと、今、予算上ですけれども、財調残高が9億3,800万円、こちらが今の財調の残高ということの見込みでございます。

今回、このような財調の残高を含めて、今後の財政見通しということのご質問でございますが、先ほど、菅野議員おっしゃったように、税収の減と。また、太陽光発電部分の増収は、またちょっと置いてになるかと思われるんですが、今回はちょっと5月で決算も終わっているということを含めて、今後、9月に決算の議会のほうに提案となるわけで、そちらについては、約3億円ぐらいが繰越金が生じるのではないかと。トータル的に6億円、7億円あっても、繰越明許費で出していますけれども、そちらで繰越しの一般財源抜かれますので、3億円から4億円ぐらいになるんじゃないかと、今推測しておりまして、そちらから積立てと。だから、今後見込まれるのが普通交付税関係ないし、そちらの交付税関係そちらでの見込み

ということ踏まえると、かなり厳しい状況にもなるんじゃないかと。ただ、固定資産税につきましても、去年の徴収猶予分ということがございまして、そちらも今年度国のほうから特別交付金ということで全額補填されるのかどうかというのは、ちょっとはつきり分らないんですが、こちらの部分も法人関係の固定資産税の、土地はまた別ですけども、建物と償却資産分ということが入ってきますけれども、全体的には今後、東日本大震災で整備した建物等の維持管理経費とか、それに増してコロナの影響の税収の減と、また、今回のようにどこまでどうなるか分らないんですが、コロナに対しての財政支出ということがプラスになるのではないかと、財政当局とは想定しておりますけれども、それら踏まえながら、今後の財政見通しということ踏まえると、職員一丸となって取捨選択ではないですが、事業の集中とかそちらのほうを考えながら、令和3年度の補正、または令和4年度の当初ということで、改めて予算の方針について再検討していく必要があるのではないかと考えている状況でございます。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） なかなか厳しいという財政運営になっていくというお話であります、そうした中で、この新型コロナウイルス感染症、今後どうなっていくのか分かりませんが、町への交付金は1億300万円の限度額ということで、第1次補正で教えていただきました。しかし、1号補正予算で7,300万円を使って、今回、残り3,000万円を使うわけでありまして、今回の補正で使い切ることになってしまいます。大分、この落ち込んだ経済活動の回復、そしてこれからの活性化を考えた場合に、国の交付金がなくなると大変厳しいのではないかと考えております。2年度の補正で約4兆5,000億円、そして、予備費で3兆7,000億円ぐらい国から出していただいておりますけれども、その中で、2年度で48事業ですか、今回、今年で20事業ということで進めてきているわけでありまして、この国の交付金がなくなってしまうと、全くお手上げの状態になるのではないかと思います、今後の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の見通しについて、何か情報があればお聞かせ願いたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） まず、国の3次補正に伴う今回の20事業につきましては、7月30日まで国のほうに実施計画を出さなければならないということで、全て使い切る形で事業化させていただいております。

また、今後の新型コロナウイルス感染症の対応の臨時交付金の国の動きについて、今後新たな交付があるのかどうかということは、まだ一切何も情報が入っていない状況でございます。

す。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） 4月にですか、事業者支援分として5,000億円、県を通じて各町村に配付すると、交付するということでありましたけれども、3,000億円は使ってしまったということで、残り2,000億円ぐらいだと思いますけど、それではどうにもなりませんので、ひとつ町長ね、町村会を通じて、知事に申し上げて、知事会のほうから国のほうへ強く要望していただきたいということをお願いしておきたいと思います。

次に、これは、1次補正で計上した予算の事業でありますけれども、デジタルワーキングスペース構築事業ということであります。ワーケーション導入に係る通信環境の構築費、また、施設内に新たなスペースを確保する場合の設備改修費などに補正しておりますけれども、先ほど色川議員かな、からもちっと内容についてお話がありましたけれども、私は、1施設50万円で8施設分ということでありましたけれども、申請はあったのかどうかということをお聞かせいただければと思います。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） こちらのほうにつきましては、要綱等を定めまして、6月1日から募集開始を行ってございます。現在のところ、交付申請といたしましては、6施設ありまして、その中で4施設が決定をしていると。2施設については、今審査中でございます。また、事業申請に向けて宿泊施設のほうでは、さらに4施設ほど事業の中身のほう、要は業者から見積りを取ったりとか、申請準備段階があるということでございます。以上です。と

○議長（阿部幸夫君） 菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） 申請者、もう少し増えるということでもいいんですか。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回、上限額50万円ということでございまして、施設によりまして規模も変わってまいりますので、申請額が50万円まで達しないところがありますので、今の段階では予算の範囲内で実施したいと考えております。以上です。

○議長（阿部幸夫君） 菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） 分かりました。50万円で間に合うということで、あったのかどうか、その辺、補助してもらうんだからありがたいと思いますけれども。今後ともスムーズに進むようにしていただければと思います。

もう1件、新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援事業で2,120万円と、補助金を確保

しました。区分とか補助額はいろいろでありますけれども、27件を見込んでおりました。これも申請状況について伺いたいと思います。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） さきに補正させていただいた事業者継続応援給付金のことだと思います。これにつきましては、5月末までの段階で交付決定件数が351件となっております。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 菅野良雄議員。

○11番（菅野良雄君） 前回補正の、第1次補正のナンバー6ですよ。

○議長（阿部幸夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 失礼しました。ナンバー6事業でございます。交付決定いたしましたしましては、26件でございます。以上でございます。（「了解しました」の声あり）

○議長（阿部幸夫君） よろしいですか。（「以上です」の声あり）他に質疑ございませんか。
6番片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） 災害復旧工事でちょっと教育委員会のほうの第一小学校のエキスパンションジョイント災害復旧ということですが、工事内容としてはどのような工事内容なのでしょうか。この建物は継ぎ足した建物の間のところのジョイントのことを言っているんだろうと思うんですが、この工事内容というのを教えてください。

○議長（阿部幸夫君） 千葉教育課長。

○教育課長（千葉忠弘君） 3月の地震により壊れたエキスパンションジョイントを改めまして設置する工事ということでございます。中身につきましては、前回が東日本大震災のときにつけたものでございまして、10年たっているということもあり、性能のほうは少し良くなっているものということで聞いております。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） 性能が良くなったということは、どういうものが入っているんですが、あそこに。ゴムのようなものが入っていて、このジョイントのずれを調整しているんですか。それを交換するということですか。どういふのですか。

○議長（阿部幸夫君） 千葉教育課長。

○教育課長（千葉忠弘君） そのゴムのもののような形状のものがあって、それで地震による外力を吸収する中身となっております。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） そうすると、今この写真を見ると、何か隙間が空いているところ、廊下のところの隙間空いているところ、これがジョイントが下がったということなんですか。それとも、それが抜け出てきたということの、この写真なんでしょうかね。これちょっとはつきり見えないんですけど。ただ、これは、そうすると、震災のたびにこういうことが起きているということで、今回で何回目になるんですか。

○議長（阿部幸夫君） 赤間教育次長。

○教育次長（赤間隆之君） こちらのエキスパンションジョイントなんですが、建物を増築した際に、ちょうど違う建物がありまして、そこで動きに対しまして大きな被害を防止するために、ちょっとクリアランス、空間を設けまして、そこにエキスパンションジョイントというものを、プレートのようなものを挟み込みまして、ちょうど間のところを隠しているというような状況でございます。

これ、過去にちょうど東日本大震災の部分で壊れまして、その際に設置したということでございまして、今回が震災後2回目ということになっております。

○議長（阿部幸夫君） 片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） 安全にできるように施工していただきますようお願いしておきます。

ただ、学校の建物というの、継ぎ足したところはみなこのようなものなんでしょうかね。松島としては学校の校舎を継ぎ足したというのは、第一小学校だけでしょうか。それ以外にはこういうことはないんですかね。その辺お聞きしておきます。

○議長（阿部幸夫君） 赤間教育次長。

○教育次長（赤間隆之君） 第一小学校のほかに松島中学校がございまして、ちょうど川沿いの東側の校舎増築した際にもエキスパンションの設置をしております。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） それ中学校のほうはこのような問題は生じていないということでよろしいんですか。それとも工法が違うんですかね。何でしょうかね。

○議長（阿部幸夫君） 赤間教育次長。

○教育次長（赤間隆之君） 工法自体はそう変わりはないと思うんですが、ちょうど建物が建っている地盤等の関係でしょうかね。あと、揺れる震度にもよりまして、その揺れ方によって建物が揺れるということで、そのエキスパンションジョイントの部分も破損したり、そのまま大丈夫だったりするような状況になります。以上でございます。

○議長（阿部幸夫君） 片山正弘議員。

○6番（片山正弘君） 今後、余りそういうふうにならないように、頑丈に、いい方向でつくっていただきますことを願っておきます。終わります。

○議長（阿部幸夫君） 他に質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第36号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議案第36号令和3年度松島町一般会計補正予算（第3号）については原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第37号 令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

○議長（阿部幸夫君） 日程第5、議案第37号令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第37号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議案第37号令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第38号 令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
について

○議長（阿部幸夫君） 日程第6、議案第38号令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第38号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議案第38号令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第39号 令和3年度松島町水道事業会計補正予算（第1号）について

○議長（阿部幸夫君） 日程第7、議案第39号令和3年度松島町水道事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第39号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（阿部幸夫君） 起立全員です。よって、議案第39号令和3年度松島町水道事業会計補正

予算（第 1 号）については原案のとおり可決されました。

日程第 8 委員会の閉会中の継続審査・調査について

○議長（阿部幸夫君） 日程第 8、委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを議題といたします。

各委員会の委員長から、閉会中の継続審査及び調査の申出があります。件名一覧はお手元に配付いたしております。審査及び調査件名を事務局長より朗読させます。櫻井局長。

○議会事務局長（櫻井和也君） それでは朗読いたします。

委員会の閉会中の継続審査・調査申出一覧表。令和 3 年第 2 回松島町議会定例会。

委員会名、継続審査等の内容、審査等の期限の順に申し上げます。

広報公聴常任委員会。議会広報誌の編集、発行及び配布。議会における情報通信技術の活用。議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整。広報及び公聴の活動により明らかになった政策課題の整理。令和 3 年 9 月定例会。

議会運営委員会、次回の議会開会に伴う議会運営についての審査。議長の諮問事項及び議会活性化に伴う調査研究。令和 3 年 9 月定例会。

以上です。

○議長（阿部幸夫君） お諮りいたします。各委員会の委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査及び調査することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（阿部幸夫君） 異議なしと認めます。よって、申出のとおり、閉会中の継続審査及び調査することに決定をいたしました。

本定例会に付議された議案の審議は全部終了いたしました。

令和 3 年第 2 回松島町議会定例会を閉会したいと思います。

皆様、大変ご苦労さまでございました。

午前 11 時 43 分 閉 会